



とねっと協議会だより VOL.4

【参加施設数】 119（中核施設11、病院・診療所103、検査施設5） 【参加住民数】 17,000人（1月20日現在）

発行日／ 平成26年1月24日 発行／ 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会事務局
電話番号／ 0480 (63) 0003 FAX／ 0480 (63) 0033 URL／ <https://sites.google.com/site/tonetsince2012/>

平成26年1月14日(火)に第9回協議会臨時総会を開催しました。総会では、提案した4項目について協議され、いずれも案のとおり承認されました。

●「とねっと」普及・啓発の推進を決定

実際の「とねっと」活用事例を紹介した広報や小児アレルギー対策に「とねっと」を活用してもらうための学校等を通じた参加案内、入院患者に対する積極的な勧誘及び来院患者にかかりつけ医カードの提出を促す声かけの実施など、「とねっと」を普及・啓発するための取組を推進することが決定されました。

各医療機関と行政機関の皆様には、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

●地域医療ネットワークシンポジウムの開催内容を決定

平成25年度の地域医療ネットワークシンポジウムを次のとおり開催することが決定されました。

【日時】 平成26年3月8日（土）13時30分～
【会場】 幸手市北公民館 レクリエーションホール
【構成】

①基調講演

内容：慢性期・急性期医療における「とねっと」の活用
講師：東埼玉総合病院長 三島 秀康 先生

②演劇

内容：くま先生のお話～とねっと利活用によるメリット編～
演者：劇団「菜のはな」
東埼玉総合病院スタッフと地域住民による劇団

③総括及び質疑応答

会長 加須市長 大橋 良一
部会長 済生会栗橋病院長 遠藤 康弘 先生
部会長 久喜総合病院長 井坂 茂夫 先生

●協議会事務局費の支払方法を決定

医療機関の振込手数料の負担を回避するとともに、先生方のご意見を伺う機会を確保することを目的に、協議会事務局職員が各医療機関を訪問して集金させていただきますことが決定されました。

平成26年4月以降、順次、訪問させていただきますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

●広告掲載による財源確保の実施を決定

「とねっと」の事業継続や将来の利根保健医療圏外への拡大に必要な財源の確保を目的に、協議会ホームページや「とねっと」のメールに有料広告を掲載する取組を進めることが決定されました。

今後、作業部会で掲載基準や掲載料を協議して決定します。

◇◆◇ お知らせ ◇◆◇

●患者様のかかりつけ医カードIDの「紐付け」にご協力ください。

患者情報の登録・参照には、各医療機関で患者様のカードIDを「とねっと」に登録していただく必要があります。協議会事務局による「紐付け」作業の代行も可能です。ぜひ、ご利用ください。

●診療時間外にも予約できる便利な検査予約機能（C@RNA）をご利用ください。

【予約可能施設】

- ・済生会栗橋病院様（MRI、CT）
- ・久喜総合病院様（CT）
- ・国立病院機構 東埼玉病院様（CT、BMD RI）
- ・加須市医療診断センター様（MRI、CT、MMG）

●地域連携パス機能をご利用ください。

脳卒中などの患者様の逆紹介や糖尿病治療のための連携にご活用ください。

◇◆◇ 利用者の声 ◇◆◇

先日、ある医療機関から、自院に救急搬送された患者様から『「とねっと」に入っていて助かった』との声が寄せられた旨をお知らせいただきました。今月は、この患者様の声をご紹介します。

60代女性の声

『119番通報をし、救急隊が到着した時には、ほとんど意識がなかったとのことでした。

しかし、「かかりつけ医カード」を目に付くところに置いていたので、救急隊が「とねっと」に登録した情報を見て、すぐさま適切に対応してくれました。

また、搬送中に「とねっと」に登録した緊急連絡先に連絡してくれたので、家族が病院に駆けつけてくれました。

一刻一秒を争う中で「とねっと」に入っていて助かりました。』



※ 『とねっと協議会だより』では、参加医療機関の皆様や患者様からの声を掲載しています。ご意見、ご感想をお待ちしています。